

# あぜ波シート設置による イネミズゾウムシ成虫の水田内侵入抑制

福島県農業総合センター 生産環境部  
平成19年度農業総合センター試験成績概要

## 1 部門名

水稲 - 水稲 - 病害虫防除  
分類コード 01-01-23000000

## 2 担当者

松木伸浩・三田村敏正

## 3 要旨

あぜ波シートを水稲移植直後に水田内の畦畔際に設置することにより、水田内部へのイネミズゾウムシ成虫の侵入を抑制することができる。

- (1) 移植直後にあぜ波シート(商品名:アゼナミ、(株)タキロンプロテック製, 0.5mm×35cm×20m)を畦畔から約50cm(畦畔から1条目と2条目の間)に設置し、その後の寄生成虫密度、成虫被害度、寄生幼虫密度を調査した。
- (2) 水面からあぜ波シート上部までの高さは、調査期間中15.4cm～19.2cmで推移した。
- (3) あぜ波シートの内側では、無処理区100に対し、成虫密度0～7.4、成虫被害度3.2～16.8、幼虫・蛹寄生密度16.8であった。
- (4) あぜ波シートを水田内の畦畔際に設置することにより、イネミズゾウムシ成虫の水田内部への侵入を抑制し、成虫による被害を低減できると考えられた。

## 4 その他の資料等

- (1) 城所 隆(2007)総合防除の考え方と実際、農業総覧 病害虫防除・資材編1 追録第13号
- (2) 平成19年度滋賀県農作物病害虫雑草防除基準